

1 xy 平面上に $x = 2 \cos 2\theta$, $y = 2 \cos 3\theta$ ($0 \leq \theta \leq \pi$) と媒介変数表示された曲線 C を考える。
このとき、次の問に答えよ。

- (1) $0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$ において、 y を x の式で表せ。また、 $\frac{\pi}{2} \leq \theta \leq \pi$ において、 y を x の式で表せ。
- (2) 曲線 C の概形を描け。
- (3) 曲線 C が囲む領域の面積を求めよ。

(佐賀大学 2014)

2 次の問に答えよ。

- (1) 異なる 2 点 $(-3, -3)$, (a, b) を通る直線の方程式を求めよ。ただし、 a, b は実数とする。
- (2) 媒介変数表示 $\begin{cases} x = 2 \cos t \\ y = -\sin^2 t \end{cases}$ で表される曲線の概形をかけ。
- (3) 関数 $f(t) = \frac{-\sin^2 t + 3}{2 \cos t + 3}$ の最大値および最小値を求めよ。

(島根大学 2013)

3 次の条件 (ア), (イ) を満たす複素数 z を考える。

- (ア) $z + \frac{i}{z}$ は実数である
- (イ) z の虚部は正である

ただし、 i は虚数単位である。このとき、次の問に答えよ。

- (1) $r = |z|$ とおくとき、 z を r を用いて表せ。
- (2) z の虚部が最大となるときの z を求めよ。

(富山大学 2016)

4 $z = \cos \frac{2\pi}{5} + i \sin \frac{2\pi}{5}$ とするとき、次の問に答えよ。ただし、 i は虚数単位である。

- (1) $z^n = 1$ となる最小の正の整数 n を求めよ。
- (2) $z^4 + z^3 + z^2 + z + 1$ の値を求めよ。
- (3) $(1+z)(1+z^2)(1+z^4)(1+z^8)$ の値を求めよ。
- (4) $\cos \frac{2\pi}{5} + \cos \frac{4\pi}{5}$ の値を求めよ。

(富山県立大学 2016)



2014年 理工学部 第4問

4 xy 平面上に $x = 2\cos 2\theta$, $y = 2\cos 3\theta$ ($0 \leq \theta \leq \pi$) と媒介変数表示された曲線 C を考える。このとき、次の問に答えよ。

- (1) $t = \cos \theta$ とおいて、 x と y を t の式で表せ。
 (2) $0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$ において、 y を x の式で表せ。また、 $\frac{\pi}{2} \leq \theta \leq \pi$ において、 y を x の式で表せ。
 (3) 曲線 C の概形を描け。

(1) $x = 2(2\cos^2\theta - 1)$, $y = 2(4\cos^3\theta - 3\cos\theta)$ より

$$\underline{x = 4t^2 - 2, \quad y = 8t^3 - 6t} \quad "$$

(2) (i) $0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$ のとき。

$$0 \leq t \leq 1 \text{ なので } t = \sqrt{\frac{x+2}{4}} \quad \therefore \underline{y = (x-1)\sqrt{x+2}} \quad "$$

(ii) $\frac{\pi}{2} \leq \theta \leq \pi$ のとき。

$$-1 \leq t \leq 0 \text{ なので } t = -\sqrt{\frac{x+2}{4}} \quad \therefore \underline{y = (1-x)\sqrt{x+2}} \quad "$$

(3) (2) より どちらの場合も $-2 \leq x \leq 2$ であり

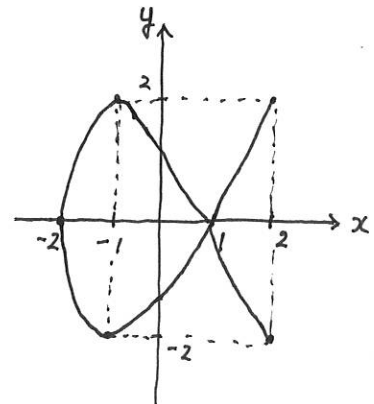
グラフは x 軸に関して対称なので、 $0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{2}$ の場合を調べる。

$$\begin{aligned} y' &= \sqrt{x+2} + (x-1) \cdot \frac{1}{2\sqrt{x+2}} \\ &= \frac{3(x+1)}{2\sqrt{x+2}} \end{aligned}$$

x	-2	...	-1	...	2
y'			-	0	+
y	0	↓	-2	↑	2

∴ よって増減表は右のようになる。

よってグラフは右のようになる。





2013年 総合理工 (数理・情報システム以外) 第1問

数理
石井K

1 次の問いに答えよ。

(1) 異なる2点 $(-3, -3)$, (a, b) を通る直線の方程式を求めよ。ただし, a, b は実数とする。(2) 媒介変数表示 $\begin{cases} x = 2 \cos t \\ y = -\sin^2 t \end{cases}$ で表される曲線の概形をかけ。(3) 関数 $f(t) = \frac{-\sin^2 t + 3}{2 \cos t + 3}$ の最大値および最小値を求めよ。

(1) (i) $a \neq -3$ のとき. $y = \frac{b+3}{a+3}(x+3) - 3 \quad \therefore y = \frac{b+3}{a+3}x + \frac{3(b-a)}{a+3}$

(ii) $a = -3$ のとき. $x = -3$

(i), (ii) より $\begin{cases} y = \frac{b+3}{a+3}x + \frac{3(b-a)}{a+3} & (a \neq -3 \text{ のとき}) \\ x = -3 & (a = -3 \text{ のとき}) \end{cases}$ //

(2) $\cos t = \frac{x}{2}$, $\sin^2 t = -y$ を $\cos^2 t + \sin^2 t = 1$ に代入して

$$\left(\frac{x}{2}\right)^2 + (-y) = 1 \quad \therefore y = \frac{x^2}{4} - 1$$

また, $-1 \leq \cos t \leq 1$, $0 \leq \sin^2 t \leq 1$ より. $-2 \leq x \leq 2$, $-1 \leq y \leq 0$

よって, 曲線は右のようになる。

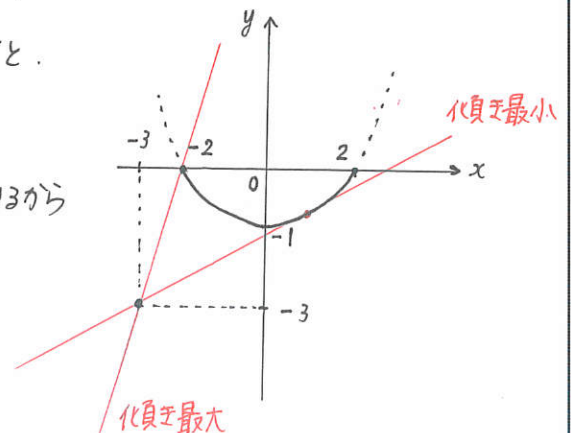
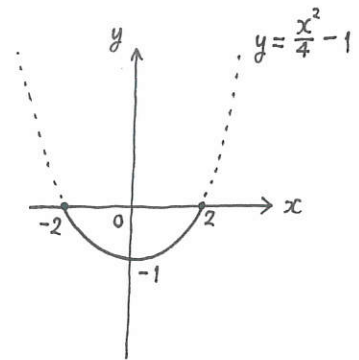
(3) $f(t)$ は 2点 $(2 \cos t, -\sin^2 t)$, $(-3, -3)$ を通る直線の傾きを表しているから, 右下図より。 $f(t)$ が最大となるのは, $(-2, 0)$ と $(-3, -3)$ を通るので

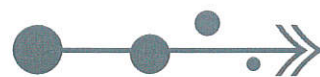
(1) より, 傾きは, 3

 $f(t)$ が最小となるのは, (2) の曲線に接するときなので接点を $(s, \frac{s^2}{4} - 1)$ (ただし, $-2 \leq s \leq 2$) とおくと。 $y' = \frac{x}{2}$ より, 接線は, $y = \frac{s}{2}(x-s) + \frac{s^2}{4} - 1$ すなわち, $y = \frac{s}{2}x - \frac{s^2}{4} - 1$ これが $(-3, -3)$ を通るから

$$-3 = -\frac{3}{2}s - \frac{s^2}{4} - 1 \quad \therefore s^2 + 6s - 8 = 0$$

$$-2 \leq s \leq 2 \text{ より, } s = \sqrt{7} - 3 \text{ 傾きは } \frac{\sqrt{7}-3}{2}$$

以上より 最大値 3, 最小値 $\frac{\sqrt{7}-3}{2}$ //



2016年工学部・理学部（その他）第3問

3 次の条件 (ア), (イ) を満たす複素数 z を考える.(ア) $z + \frac{i}{z}$ は実数である(イ) z の虚部は正であるただし, i は虚数単位である. このとき, 次の問いに答えよ.(1) $r = |z|$ とおくと, z を r を用いて表せ.(2) z の虚部が最大となるときの z を求めよ.(1) $r = |z|$ とおくと (1) より, $z = r(\cos\theta + i\sin\theta)$ ($0 < \theta < \pi$) と表せる

このとき,

$$\begin{aligned} z + \frac{i}{z} &= r(\cos\theta + i\sin\theta) + \frac{i}{r(\cos\theta + i\sin\theta)} \\ &= r(\cos\theta + i\sin\theta) + \frac{i}{r} \cdot (\cos\theta - i\sin\theta) \\ &= \left(r\cos\theta + \frac{1}{r}\sin\theta\right) + i\left(r\sin\theta + \frac{1}{r}\cos\theta\right) \end{aligned}$$

 \therefore 虚部は $r\sin\theta + \frac{1}{r}\cos\theta$ で (ア) より, $r\sin\theta + \frac{1}{r}\cos\theta = 0 \dots (*)$

$$\therefore r\sin\theta = -\frac{1}{r}\cos\theta$$

両辺 2 乗して, $r^2\sin^2\theta = \frac{1}{r^2}\cos^2\theta$

$$r^4\sin^2\theta = \cos^2\theta \quad 0 < \theta < \pi \text{ より } \sin\theta > 0 \text{ なので, } \sin\theta = \frac{1}{\sqrt{r^4+1}}$$

(*) に代入して, $\cos\theta = -\frac{r^2}{\sqrt{r^4+1}}$

$$\therefore z = r\left(-\frac{r^2}{\sqrt{r^4+1}} + \frac{i}{\sqrt{r^4+1}}\right) \quad \therefore z = -\frac{r^3}{\sqrt{r^4+1}} + \frac{r}{\sqrt{r^4+1}}i$$

(2) $f(r) = \frac{r}{\sqrt{r^4+1}}$ とおく ($r > 0$)

$$f'(r) = \frac{\sqrt{r^4+1} - r \cdot \frac{1}{2} \cdot \frac{4r^3}{\sqrt{r^4+1}}}{r^4+1} = \frac{(1-r)(1+r)(1+r^2)}{\sqrt{r^4+1}(r^4+1)}$$

r	(0)	...	1	...
$f'(r)$		+	0	-
$f(r)$		\nearrow	$\frac{\sqrt{2}}{2}$	\searrow

 \therefore 増減表より z の虚部が最大となる z は $r=1$ のときで

$$z = -\frac{\sqrt{2}}{2} + \frac{\sqrt{2}}{2}i$$

2016年工学部第2問


 数理
石井K

2 $z = \cos \frac{2\pi}{5} + i \sin \frac{2\pi}{5}$ とするとき、次の問いに答えよ。ただし、 i は虚数単位である。

- (1) $z^n = 1$ となる最小の正の整数 n を求めよ。
 (2) $z^4 + z^3 + z^2 + z + 1$ の値を求めよ。
 (3) $(1+z)(1+z^2)(1+z^4)(1+z^8)$ の値を求めよ。
 (4) $\cos \frac{2\pi}{5} + \cos \frac{4\pi}{5}$ の値を求めよ。

(1) ド・モアブルの定理より、

$$\begin{aligned} z^n &= \left(\cos \frac{2\pi}{5} + i \sin \frac{2\pi}{5} \right)^n \\ &= \cos \frac{2n\pi}{5} + i \sin \frac{2n\pi}{5} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \therefore z^n = 1 &\iff \frac{2n\pi}{5} = 2k\pi \quad (k \text{ は整数}) \\ &\iff n = 5k \end{aligned}$$

\therefore 最小の正の整数 n は、 $n=5$ //

$$\begin{aligned} (2) (z-1)(z^4+z^3+z^2+z+1) &= z^5-1 \\ &= 0 \quad (\because (1) \text{ より}) \end{aligned}$$

よって、 $0 < \frac{2\pi}{5} < \frac{\pi}{2}$ より、 $z \neq 1$ であることから、 $z^4+z^3+z^2+z+1=0$ //

$$\begin{aligned} (3) (\text{与式}) &= (1+z+z^2+z^3)(1+z^4+z^8+z^{12}) \\ &= -z^4 \cdot (1+z^2+z^3+z^4) \quad \left. \begin{array}{l} \\ \end{array} \right\} 1+z+z^2+z^3+z^4=0 \text{ と } z^5=1 \text{ より} \\ &= -z^4 \cdot (-z) \\ &= z^5 \\ &= \underline{1} // \end{aligned}$$

$$(4) \text{ 右の図より、} z^4 = \bar{z}, z^3 = \bar{z}^2$$

$$\begin{aligned} \therefore z+z^2+z^3+z^4 &= (z+\bar{z}) + (z^2+\bar{z}^2) \\ &= 2 \cos \frac{2\pi}{5} + 2 \cos \frac{4\pi}{5} \end{aligned}$$

一方、 $z+z^2+z^3+z^4 = -1$ より、

$$\cos \frac{2\pi}{5} + \cos \frac{4\pi}{5} = \underline{-\frac{1}{2}} //$$

